

発信元	琴浦町立東伯中学校
担当者	教頭 田村
連絡先	0858-52-2326
令和8年5月26日(火)	

「ことうら未来会議」

- 中学3年生が琴浦町の現状について学び、町の課題に対応する施策を考え、「町長さんへのメッセージ」としてまとめます。
- 「町長さんへのメッセージ」としてまとめたものを発表し、町の行政担当者からフィードバックを得ます。

主催 琴浦町（東伯中学校）
日時 令和8年5月28日（木）14時30分～15時20分
場所 東伯中学校（鳥取県東伯郡琴浦町徳万236）

事業紹介

東伯中学校3年生が総合的な学習の時間で町の現状について調べ、施策の提案を行う「ことうら未来会議」に取り組みます。

主な取り組み概要

5月28日（木）14:40～15:30（学年集会・ミーティングルーム）

琴浦町の「今」を知る

施政方針から町の課題を6つのカテゴリで理解する。

（子育て・教育、健康・福祉、地域活性化・交流、産業・経済、環境・資源、防災・公共施設）

6月2日（火）10:40～11:30（各クラス・班活動）

理想の未来を描く

選択したテーマについて深く調べ、中学生らしい解決策の種を見つける。

6月8日（月）14:40～15:30（各クラス・班活動）

町長への提言：ことうら未来プラン

町長や町民に伝わる論理的で魅力的な提案資料をつくる。

6月9日（火）10:40～11:30（学年集会・ミーティングルーム）

明日からの自分アクション

町の関係者に対して提案を行い、フィードバックを得る。

※ 5月28日（木）と6月9日（火）に琴浦町役場の方においでいただき、話をさせていただいたり、提案を聞いていただきます。

「琴浦Myスター☆ことうら未来会議」

～中学生が描く、10年後の居心地のいいまちづくり～

1)目的

- 琴浦町の現状と課題を施政方針から学び、地域社会への関心を高める。
- 自分たちの生活に関連する課題を見つけ、その解決策を論理的に考え、提案する力を養う。
- 「変えるべきは変え、残すべきは残す」という町の姿勢を学び、持続可能なまちづくりに参画する意識を持つ。

2)計画(全4時間+α)

【第1時】課題を知る・分類する:琴浦町の「今」をキャッチアップ

- 目標: 施政方針から町の課題を6つのカテゴリーで理解する。
- 内容:
 1. 導入: 町長が掲げる「居心地のいいまちづくり」のビジョンを共有する。
 2. クイズで知る: 琴浦町
 3. 分類学習: 以下の施政方針に基づく6つの課題カテゴリーを紹介。

A: 子育て・教育	台湾との中学生相互派遣交流、こども誰でも通園制度、小学校給食無償化、コミュニティ・スクール
B: 健康・福祉	出張がん検診、フレイル予防・介護予防教室、带状疱疹ワクチン予防接種、ことうらふれあいマルシェ
C: 地域活性化・交流	以西地域交流センターのスタート、DX(書かない窓口、スマートロック)、住民票等のコンビニ交付手数料引下げ
D: 産業・経済	スマート農業の推進、ワイナリー事業を核としたブランド化、起業支援補助金、未来人材奨学金返還支援
E: 環境・資源	プラスチックの再商品化(分別回収)、AIアプリによるごみ分別推進、再生可能エネルギーの活用
F: 防災・公共施設	赤碕コミュニティセンターのZEB化、公共施設の最適化、浸水被害防止対策工事、避難所備蓄の確保

4. ゲスト講話: 町役場の担当者(総務課)に、特に深刻な課題(人口減少や施設の老朽化など)について直接説明してもらう。
5. 自分たちの視点: 生徒が日常で感じる「不便」や「もっとこうなれば」を出し合い、上記のカテゴリーと紐づける。
6. グループ分け: 興味のあるカテゴリーごとにグループを結成。

【第2時】解決方法を調べる・話し合う:チーム・プロジェクト

- 目標: 選択したテーマについて深く調べ、中学生らしい解決策の種を見つける。
- 内容:
 1. リサーチ: 施政方針にある具体的な施策(例: AIアプリによるごみ分別、ふるさと教育、国際交流など)をヒントに、自分たちが貢献できるポイントを探る。(資料)

- ブレインストーミング:「実行できるか」という視点を持ちつつ、自由な発想で解決策を議論する。

【第3時】提案を形にする:プレゼン資料(スライド)作成

- 目標: 町長や町民に伝わる論理的で魅力的な提案資料をつくる。
- 内容:
 1. スライド構成:「現状と課題」→「私たちの提案」→「自分たちができること(実行プラン)」の順で作成。
 2. 実行可能性の検討: 単に「町にやってほしい」だけでなく、「私たち中学生もこう協力する」という共創の視点を入れる。
 3. 推敲: グラフや写真を用い、視覚的に分かりやすい資料にする。

【第4時】ことうら未来会議: 提言の発表と実行宣言

- 目標: 町の関係者に対して提案を行い、フィードバックを得る。
- 内容:
 1. 発表: 各グループ3分程度で提案。
 2. 意見交換: 町役場の方や地域の方から、実現に向けたアドバイスをもらう。
 3. 振り返り: 提案した内容のうち、明日から自分たちで実行できる一歩(例: SNSでの魅力発信、分別の徹底、地域行事への参加など)を個人で決める。

3) 必要なものや人材など

- 資料: 令和8年度 琴浦町施政方針(中学生向け要約版があると望ましい)。

もっと知りたい琴浦町(役場提供資料 1人1冊)

- ICT端末: スライド作成用 およびスライドのひな形
- 人材: 町役場職員: 課題説明および講評者
- 場所: <2・3時間目>教室、<道徳・1・4時間目>ミーティングルーム(発表会用)

4) 注意事項

- 現実感の保持: 予算(令和8年度一般会計予算は約148億円)についても触れ、無限に予算が使えるわけではないという現実的な視点を持たせる。
- 失敗を恐れない: 町自身が「変革を恐れず挑戦していく」という姿勢を示しているため、生徒の斬新なアイデアを否定せず、まずは受け止める雰囲気づくりを徹底する。
- 継続性: 単発の授業で終わらせず、文化祭での発表や、実際の町政への反映(子ども議会等)への足掛かりとする。